

半田正夫氏（荒川健一撮影）

文化結社 **トカラ塾**
CULTURAL ASSOCIATION TOKARAJUKU

文化結社トカラ塾 ナオの南風語り [第18回]

話し手

稲垣 尚友

（竹大工・民俗研究家。トカラ列島中之島に在住している半田正夫氏のライフ・ヒストリーを研究）



半田正夫証言集 *Part 2*

戦後は密貿易と開拓から始まった

■太平洋戦争終結後、北緯三十度以南はアメリカの軍政下に入った。

■トカラの島々は日本本土から切り離されて、血縁者への面会はおろか、本土へ働きに出ることもできない。

■閉じ込められたなかで、まずは食糧の確保が急務である。原生林の開拓が始まる。

■軍資府の指導もあって、最も大きい中之島に、さまざまな人が吹き溜まる。まるで、人種のルツボと化した。

■また、現金収入を得るために密貿易にも励んだ。

■そうした暮らしの先頭に立って働いたひとりの男の証言である。



中之島ナツヤマ開拓団（撮影日時不詳）

2013年7月27日(土) 午後3時～

会費

カンパ制（任意）

場所

ギャラリー GALA

世田谷区梅が丘 1-26-5-2F（小田急線梅ヶ丘駅南口徒歩1分）

<http://www.gala-fudoki.com/>

参加連絡

090-4713-1299（稲垣一雄）

080-5085-2477（橋爪太作）

info@tokarajuku.sakura.nc.jp

主催

文化結社トカラ塾 (<http://www.tokarajuku.sakura.nc.jp/>)

